

①病院名	②H29 病床数	③2025年 の病床数	④再検証対象該当理由
奥多摩町国民健康保険 奥多摩病院（奥多摩町）	43床	43床	A「診療実績が特に少ない」 （へき地所在は評価外）

⑤公的資金の投入状況

<自治体や国からの繰入金、運営費補助、交付税交付金等（経営補助・損失補てん的資金）を記載>

投入状況 （記載） 有or無	有	名称 ※有の場合	
			一般会計補助金 東京都市町村公立病院運営事業補助金 東京都へき地医療運営費等補助金

病院の特色について

1 「得意とする」「重点的に取り組んでいる」主な医療の内容

- ・山間へき地である奥多摩町唯一の病院として、住民に医療を提供。
- ・二次救急指定医療機関として、地域住民にとって必要な救急医療を提供。
- ・山間部での健康管理や医療ニーズに対応するため、附属診療所への出張診療や在宅で医療が受けられる訪問診療（年間400件以上）、訪問看護（年間1700件以上）を実施し地域包括ケア病床を運用するなど、地域包括ケアを実践。
- ・地域の小児医療を行い、小児予防接種、乳幼児健診にも従事している。地域の小・中学校の学校医として学校保健にも関わっている。
- ・認知症疾患医療センター（地域連携型）、認知症初期集中支援チームとして、地域の認知症医療の中心となっている。
- ・特別養護老人ホームの配置医として、入所者の健康管理、急変時対応を行っている。

2 地域の医療機関との連携の状況（例：高度急性期病院との連携、地域の診療所との連携）

- ・奥多摩町は東京都の西北端に位置し面積が広く集落が点在している。近隣の高次医療機関（青梅市立総合病院）まで救急車で40分かかり、他の病院へのアクセスは一層困難となる状況である。
- ・青梅市立総合病院とは日頃の患者さんのやり取りにおける情報共有、会議、研修会等で連携の円滑化を試みている。平成30年3月まで院長が青梅市立総合病院の救急業務に月2回週末当直帯に携わっており、顔の見える連携づくりを心掛けている。

3 その他、病院の特徴的な取組

- ・山梨県小菅村、丹波山村の患者、ハイキング、キャンプや登山等で訪れる観光客にも対応。
- ・台風19号被害により都道204号日原街道の崩落に伴い、日原地域が孤立したため医師、看護師を派遣し診療を行っている。
- ・総合診療専門医プログラム「おくたま清流塾」の基幹施設として、若い総合診療専門医の育成に取り組んでいる。現在2名在籍、来年3名になる予定。